

共通テーマ「農業・農村に関係人口を増加させる方策」で意見交換

鳥取県の喫緊の課題である「農業・農村の関係人口の増加」について、県拠点における現場と農政を結ぶ業務の共通テーマとし、意見交換や事例収集を実施。

○ 施策分類

集落活性化、中山間地域振興、都市農村交流

○ きっかけ・背景、課題の把握

鳥取県拠点の現場と農政を結ぶ業務において、意見交換の相手方や内容に一貫性がなく、やや場当たりの傾向にあるため、中長期的視点で課題解決につながる共通テーマの設定を検討。

一方、食料・農業・農村政策審議会（令和5年9月）の答申では、農村施策の見直しの方向として「農的関係人口の増加」等が掲げられ、その方策として、農村RMO等の育成が示されているが、農村RMO等の育成が困難な地域においては「どうすれば都市部を含む非農業者を呼び込めるか」という課題への解決策が必要ではないかと思料。

このため、共通テーマに「農業・農村に関係人口を増加させる方策」を設定し、意見交換や事例収集に取り組むこととした。

○ 取組の内容

令和6年1月～3月に中山間地域政策等を研究している大学教員、UIJターン者、地域おこし協力隊員などと意見交換を行い、課題解決に繋がる意見や事例を把握・収集。

○ 効果・成果、今後の方向性

把握した意見及び事例を取りまとめ、4月以降、鳥取県及び市町村の担当者と意見交換を実施。6月には島根県雲南市で農村RMO形成に向けた意見交換を実施し、その概要を鳥取県と共有。

今後も自治体における農村政策の参考となるよう、関係機関との情報共有及び意見交換を進める予定。

食料・農業・農村政策審議会 答申(抜粋)

第2部 分野別の主要施策

3 農村分野

(3) 農村施策の見直しの方向

③ 都市と農村の交流、農的関係人口の増加
(略)

これらの農業・農村に関わる関係人口を増加させるため、従来の都市と農村の交流に加え、食をはじめとする農業や農村が有する様々な資源を活用して、二地域居住や農泊等を推進するとともに、非農業者が農村の共同活動に参加するための受け皿となる農村RMO等を育成していく。

体制図

